



夢こども基金

No.9

2006/9/19

子どもへ渡す未来へのバトン

夢こども基金 ニュース

発行編集者 特定非営利活動法人 石川こども環境教育学習基金
発行責任者 代表理事 青山 幸司
〒921-8034 金沢市泉野町4丁目9番5号

TEL&FAX: 076-245-9450
URL <http://yumekodomo.yupapa.net/>
E-mail: yumekodomo@yupapa.net



河北潟でゴミ拾いとカヌー体験



いしかわ水辺再生研究会と津幡の水辺を守る会は、7月23日(日)、かほく市の大崎水辺公園で「第3回 河北潟 親子ゴミ拾いとカヌー体験」を開催しました。(参加者; 子ども24人、大人20人)

子どもたちは、会場周辺の水辺のゴミ拾いをしてから、小学校低学年は保護者と一緒に、また、高学年は一人でパドルを握り水辺を滑るように動き回り、河北潟とのふれあいを楽しみました。最初は恐る恐る漕ぎ出していた子どもたちもすぐに慣れ、ビショビショに濡れながらもパドルを握り、大きな歓声を上げていました。



おやつには河北潟産のスイカとブドウがでて、楽しく、美味しい河北潟を満喫していました。なお、基金では傷害保険料とおやつ代を支援しました。

先輩が作ったビオトープを補修

津幡の水辺を守る会は7月27日(木)、津幡町立条南小学校において、ビオトープの補修を行いました。(参加者; 子ども10人、大人6人)

条南小学校のビオトープは数年前に卒業生が作ったものですが、すぐに水が抜けてしまい、夏場は毎日水道水を入れないと干上がって、生き物が住めない状態でした。

津幡の水辺を守る会の岡山代表は、子どもたちが困っていることを知り、遮水シートで水漏れをふさぐことにし、子どもたちと一緒に生き物の引越しと植物の植え替えを行い、池の補修をしました。



子どもたちは、泥んこになりながらも水を抜いた池の底に粘土を挟んだ遮水シートを敷設し、廃棄物のバスタブを再利用した水槽から、ヤゴやメダカ、タニシなどの生き物と、アサザ、ショウブ、ヨシ、コウホネ等の植物を戻してあげました。

メンバーの中には、移設した植物や動物の状態が気に入り、いつまでも水の中を覗き込む子もいて、大切に育ててきた生物の回復が楽しみです。

なお、夢こども基金では、池の底に敷く遮水シートの購入費を支援させていただきました。

いしかわ環境フェア 2006 に出展

NPO 法人夢こども基金は8月 19 日(土)、20 日(金)の両日、石川県産業展示館 3 号館において開催された、「いしかわ環境フェア 2006」(主催; 社団法人いしかわ県民パートナーシップ県民会議)に出展しました。



展示は 2m×3m のブースにパネルや写真の掲示により 1) 夢こども基金の紹介、2) 支援活動の紹介、3) 登録団体の紹介の構成で行い、企業会員の紹介や子どもたちの活動状況も紹介しました。

「かえっこバザール」と「みずすまし屋」



同じく「いしかわ環境フェア 2006」において、金沢エコライフクラブは、かえっこバザールとみずすまし屋を出展しました。

かえっこバザールは、子どもたちのおもちゃ交換市で、いらなくなったおもちゃを持ち寄って再利用するシステムです。

また、みずすまし屋は、古着を使った簡易排水処理装置とリサイクル食器を組み合わせた体験型環境学習システムで、イベントの参加者が自ら喫茶コーナーで使用した食器類を、古着布やアクリルタワシを使って、洗剤を使わないで洗う体験ができ、同時に汚れた水が浄化される仕組みも学べるものです。

どちらのシステムも好評で、県外からの見学者やマスコミからの取材もありました。

浅野川でアユつかみとゴミ拾い

夏休み最後の日曜日となる、8月 27 日(日)、KFC ふれあいクラブは、今年も金沢市浅野川において、「川遊び鮎のつかみ取りとゴミひろい」(後援; 金沢市、北国新聞他)を行いました。(参加者; 子ども 200 人、大人 150 人)



親子で参加した子どもたちは、まず若松橋から学童橋周辺の河川敷や川沿いの街路を清掃し、その後川原のイケスでアユつかみを楽しみました。

毎年参加していて上手につかむ子もいれば、初めてでお父さんやお母さんに手伝ってもらう子、一匹も捕れずに悔しい思いをする子、日頃は近づかない川原で子どもたちは大きな歓声を上げていました。

(平成 18 年 8 月末現在)

●基金の概要

個人正会員数	企業正会員数	団体正会員数	登録団体数
38 名	11 社	—	10 団体
企業正会員名	(株)アルテ島田、石川総合管理(株)、税理士法人泉が丘会計センター、(株)植宗園、(株)カワチオート (株)ジャテック、(株)テレビ金沢、(株)プラスト、(有)プラントエンジニアリング 増田事務所、 (株)ミルコン金沢支店、(有)柚木草花園		

【編集後記】ビショビショになってパドルを握る子、ドロドロになって植物や生き物を運ぶ子、キョロキョロしながら魚を追う子、この夏休みの時間を子どもたちは記憶にとどめてくれるでしょうか。楽しかったこと、美味しかったこと、アユが捕れず悔しかったこと、大人になって思い出してほしいものです。また、そのときの自然の姿や水辺の感触をバックグラウンドとして残してあげたいと思います。(事務局)